

クリニカルリーダーのレベル別目標

【看護師】

レベル	目 標
レベルⅠ	<ul style="list-style-type: none"> ・病院、看護部の理念、方針、目標が理解でき、組織と機能が理解できる。 ・患者の権利と看護者責務について理解できる。 ・専門職業人としての、責任ある態度、行動を身につけることができる。
レベルⅡ	<ul style="list-style-type: none"> ・看護活動が「看護者の倫理綱領」の下で実施されていることを理解し、行動できる。 ・基本的技術、態度を身につけ、安全・安楽に実施し、評価できる。 ・部署の目標・特殊性を理解し、チームメンバーの役割と責任を果たすことができる。
レベルⅢ	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理的視点を持って、看護ケアが実践できる。 ・安全安楽に看護技術が実施でき、新人看護職員のモデルになれる。 ・自己の役割を認識し、日々のリーダーの役割を果たすことができる。
レベルⅣ	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理的視点を持って、看護ケアが実践できているか指導できる。 ・看護過程、看護実践においてモデルとなり、後輩の指導ができる。 ・組織の一員として、チームリーダー・プリセプターとしての役割を果たすことができる。
レベルⅤ	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者として、部署における課題を明確にし、目標を示しながら行動することができる。 ・スタッフが専門発達を遂げるように支援し、指導できる。 ・常に病院の経営と患者の安全を考慮し、スタッフに指導できる。

【准看護師】

レベル	目 標
レベルⅠ	<ul style="list-style-type: none"> ・病院、看護部の理念、方針、目標が理解でき、組織と機能が理解できる。 ・患者の権利と看護者責務について理解できる。 ・専門職業人としての、責任ある態度、行動を身につけることができる。
レベルⅡ	<ul style="list-style-type: none"> ・看護活動が「看護者の倫理綱領」の下で実施されていることを理解し、行動できる。 ・基本的技術、態度を身につけ、安全・安楽に実施し、評価できる。 ・チームの一員としての行動をとることができる。
レベルⅢ	<ul style="list-style-type: none"> ・「看護者の倫理綱領」に基づいて、看護ケアが実践できる。 ・看護師の指導を受けながら、看護過程の展開ができる。 ・チームの一員として、自己の役割を考えた行動をとることができる。

レベルⅣ	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の一員として、自己の立場を認識し、自律と責任を持って行動でき、後輩指導ができる。 ・院内、院外研修に積極的に参加し、看護実践能力を高めることができる。 ・自己の看護観を深めるとともに、看護研究に参加し、意見を述べることができる。
------	---

【看護助手】

レベル	目 標
レベルⅠ	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職員の自覚を持ち、患者にとって責任のある行動をとることができる。 ・看護職員として基本姿勢と態度を身につけることができる。 ・指導を受けながら、介護技術が基本に基づいて実施できる。
レベルⅡ	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職業人としての態度を身につけ、患者・家族に適切に対応できる。 ・患者の日常の変化を観察し、何が重要かを認識し、報告できる。 ・自己の役割を認識し、日常の業務を自立して実践できる。
レベルⅢ	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理的配慮を踏まえた業務のモデルとなれる。 ・患者・家族状況に関心を寄せ、安全に介護技術を実践し、リーダーシップが発揮できる。 ・ロールモデルとして日常の業務を実践し、部署の業務の改善点について創造的な意見を述べることができる。